



Y.Takahashi

## THE KOKURA HIMBA STAKES

## 第1回 小倉牝馬ステークス (GIII)

	1着	3着	4着	5着
本賞	26,500,000円	9,500,000円	5,700,000円	3,800,000円
付加賞	26,500,000円	93,000円		
オーラジオ	419,000円			
アドマイヤ	419,000円			

レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

牝、4歳以上、2024.1.20以降2025.1.19まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 ハンデキャップ

2025.1.25 小倉 晴・良 芝2000m (国際) 特指

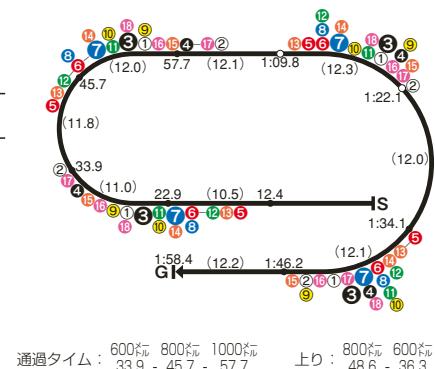
順位	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コナー (着差)	上り	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	③ フェアエールング	牝5	53	丹内祐次	1:58.4	9-8-7-6	35.6	456(+12)	14.40	和田正一郎(美浦)	104
1	⑦ シンティレーション	牝6	55	杉原誠人	同着	12-12-12-8	35.3	478(+2)	7.80	池上昌和(美浦)	108
3	⑭ コガネソーラ	牝4	55	横山武史	1	12-12-12-15	35.5	460(+14)	12.45	菊沢隆徳(美浦)	108
4	⑩ オーラエックス	牝4	51	松山弘平	%	16-16-14-15	35.3	490(+0)	3.70	杉山晴紀(栗東)	99
5	⑧ エミュー	牝5	53	佐々木大輔	クビ	14-14-14-11	35.4	434(+2)	164.70	和田正一郎(美浦)	
6	⑨ クイーンズウォーカー	牝4	55.5	川田将雅	ハナ	6-6-4-2	36.2	534(+10)	3.51	中内田充正(栗東)	
7	⑥ キミノナハマリア	牝5	54	鮫島克駿	%	14-14-14-11	35.5	504(-2)	14.36	千田輝彦(栗東)	
8	⑬ セントカメリア	牝6	53	北村友一	アタマ	17-17-18-17	35.2	460(-2)	52.30	高野友和(栗東)	
9	⑯ コスタボニータ	牝6	56	藤岡佑介	クビ	5-5-4-4	36.4	474(-8)	15.90	杉山佳明(栗東)	
10	① エンパイアウエスト	牝6	53	丸山元気	ハナ	7-6-7-5	36.1	504(-6)	42.90	黒岩陽一(美浦)	
11	⑩ ゴールドエクリプス	牝6	52	田口寛太	1½	7-8-9-8	36.2	498(±0)	43.30	大久保龍志(栗東)	
12	⑪ エリカヴィータ	牝6	53	池添謙一	%	10-10-9-11	36.3	466(+2)	85.90	国枝栄(美浦)	
13	⑮ コンケンヒル	牝5	55	岩田望来	%	4-4-2-1	37.1	476(+4)	44.40	清水久詞(栗東)	
14	⑩ アスコルティアーモ	牝5	54	津村明秀	1	10-10-11-11	36.5	456(+4)	21.80	林徹(美浦)	
15	④ グランスマラスク	牝6	52	荻野 楓	2½	3-3-4-8	37.5	466(-10)	91.50	矢作芳人(栗東)	
16	⑦ アリスウェリテ	牝5	53	柴田裕一郎	1¼	2-2-2-6	37.9	470(—)	9.74	中竹和也(栗東)	
17	② ベリーヴィーナス	牝6	52	藤懸貴志	4	1-1-1-2	38.8	504(-6)	98.30	鈴木孝志(栗東)	
18	⑤ ワレハウミノロ	牝5	50	永島まなみ	6	18-18-17-18	38.5	458(-10)	46.70	武英智(栗東)	

単勝③680円(7%)\* ⑦410円(3%)\* 複勝③390円(7%)\* ⑦300円(3%)\* ⑭380円(6%)\* 枠連②④5,240円(24%)\*

馬連③⑦4,810円(18%)\* ワイド③-⑦1,450円(13%)\* ③⑭2,180円(25%)\* ⑦-⑭1,670円(19%)\*

馬單③-⑦5,960円(38%)\* ⑦-③5,000円(33%)\* 3連複③-⑦-⑭16,680円(60%)\*

3連単③-⑦-⑭61,330円(398%)\* ⑦-③-⑭48,330円(312%)\*



通過タイム : 600m 800m 1000m  
33.9 - 45.7 - 57.7 上り : 800m 600m  
48.6 - 36.3

# フェアエールング Verehrung

北 芦毛 2020.3.18生

北海道新冠町 ビッグレッドファーム生産

馬主・(株)サラブレッドクラブ・ラフィアン 美浦・和田正一郎厩舎  
馬名意味・尊敬(独)

## INTERVIEW

蛯名聰ゼネラルマネージャー  
(ビッグレッドファーム)

### さらなるステップアップを期待しています

育成時代から評価は高い馬でしたが、線が細かったので本当に良くなるのは少し先になるだろうと考えていました。新馬戦は能力とボテンシャルだけで勝てたのだと思います。その後、馬体の成長に伴ってレースでも結果を出してくれるようになります。この勝利をきっかけにさらにステップアップして、秋には大きな舞台で結果を残してくれることを期待しています。



N.Inaba

		F3-I
ゴールドシップ 芦毛 2009	ステイゴールド 黒鹿毛 1994	サンデーサイレンスUSA ゴールデンサッシュ
	ポイントフラッグ 芦毛 1998	メジロマックイーン バストラリズム
マイネポリーヌ 黒鹿毛 2002	スペシャルウィーク 黒鹿毛 1995	サンデーサイレンスUSA キャンベンガール
	マイネミラー 黒鹿毛 1984	マルゼンスキ オカノブルー

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S 3×M 3

マルゼンスキ M 3×M 4

### 父ゴールドシップ

北海道日高町 出口牧場生産 中央、仏28戦13勝(皐月賞GⅠ、菊花賞GⅠ、有馬記念GⅠ、天皇賞(春)GⅠ、宝塚記念GⅡ)2回、阪神大賞典GⅢ3回、神戸新聞杯GⅡ、共同通信杯GⅢ)、最優秀3歳牡馬、16年から供用

[代表産駒]ユーバーレーベン(オーフスGⅠ)、メイショウウタバレ(神戸新聞杯GⅡ、毎日杯GⅢ)、ウインキートス(目黒記念GⅡ)、ゴールデンハインド(フローラS GⅡ)、ウインマイティー(マーメイドS GⅢ)、忘れな草賞・L、オーフスGⅠ3着)、コガネノソラ(クイーンS GⅢ)、フェアエールング(本馬)、ブラックホール(札幌2歳S GⅢ)、マイネルグロン(中山大障害J GⅠ)、阪神スプリングジャンプJ GⅡ)、マイネルラウレア(若駒S・L)、ブリュムドール(ステイヤーズS GⅡ2着)、サトノゴーランド(札幌2歳S GⅢ2着)、ウインピクシス(クイーンS GⅢ2着)、メイショウウブレグ(京都大賞典GⅢ3着)、マイネルエンペラー(日経新春杯GⅢ3着)、マカオンドール(京都新春杯GⅢ3着)、コスマブッドレア(京成杯GⅢ3着)

### 母マイネポリーヌ

北海道静内町 ビッグレッドファーム生産 中央2戦0勝。24年用途変更

マイネクロッシュ(06 牝父アグネスデジタルUSA)中央11戦0勝、地方14戦1勝  
マイネルパシュクル(07 牝父ロージズインメイUSA)中央13戦1勝、地方33戦2勝  
マイネルバルビソン(09 牝父アグネスデジタルUSA)中央5戦0勝、地方243戦23勝(岩鷲賞、栗駒賞3着)

ドクトルローズ(10 牝父ロージズインメイUSA)地方16戦1勝

マイネグレヴィル(11 牝父ブライアンズタイムUSA)中央33戦3勝(垂水S、調査特別、フランC GⅢ2着、札幌2歳S GⅢ2着、紫苑S GⅢ3着、コスモス賞GⅢ3着)

マイネルシュバリエ(12 雄父バトルプランUSA)中央29戦1勝(札幌2歳S GⅢ2着、プリンシバルS GⅢ3着)

マイネララティス(14 牝父コンデュイットIRE)中央13戦1勝

ヘリンヌリング(16 牝父アイルハヴァナザーUSA)中央10戦1勝

サンシェ(17 牝父グラスワンダーUSA)中央2戦0勝、地方57戦3勝

フェアエールング 本馬(20 牝父ゴールドシップ)中央17戦5勝(小倉牝馬S GⅢ、STV賞、鉄路湿原特別、利尻特別、福島記念GⅢ2着)  
獲得総賞金100,109,000円

\*08. 19、21、22(不授胎)、13、15(流産)、18、24(前年種付せず)、23(生後直死)

### 祖母マイネミラー

北海道静内町 ビッグレッドファーム生産 中央4勝(早春特別)、03年死亡

マイネカトリーヌ(94 牝父トニービンIRE)中央2勝(笛山特別)、マイネルデュプレ(共同通信杯GⅢ)、マイネプリンセス(ターコイズS GⅢ)の母、マイ

ネルギブソン(コスマス賞GⅢ)の祖母

マイネミモザ(99 牝父ブライアンズタイムUSA)中央2勝(フローラS GⅡ2着、オーフスGⅠ4着)  
マイネポリーヌ(02 前出)

昨年までは1月に行われていた愛知杯を3月に移設し、別定の牝馬短距離重賞にリニューアル。かわりに愛知杯の設定(牝馬限定、ハンデ、芝2000m)を引き継ぎ、冬の小倉開催の開幕を飾る重賞として新設された小倉牝馬Sは、初代のウイナーに2頭の馬がその名を刻んだ。JRA重賞史上、通算12回目の「1着同着」で勝利を分けたのは、7番人気のフェアエールングと3番人気のシンティレーシヨン。ともに今回が重賞初制覇で、第一回のレースを「喜びの二重奏」が彩った。逃げ候補が散在し、注目された主導権争いは2番枠を引いたベリーヴィー

ナスに重配。17番枠から様子を見るように飛び出したアリストヴェリテは競り合いを嫌つて2番手に控えたものの、の設定(牝馬限定、ハンデ、芝2000m)を引き継ぎ、冬の小倉開催の開幕を飾る重賞として新設された小倉牝馬Sは、初代のウイナーに2頭の馬がその名を刻んだ。JRA重賞史上、通算12回目の「1着同着」で勝利を分けたのは、7番人気のフェアエールングと3番人気のシンティレーシヨン。ともに今回が重賞初制覇で、第一回のレースを「喜びの二重奏」が彩った。逃げ候補が散在し、注目された主導権争いは2番枠を引いたベリーヴィー

の一角で末脚勝負に構えた。失速した逃げ馬をかわしたコンクシエルに、早めに進出したクイーンズウ

## 初代ウイナーに2頭がその名を刻む

